

幼児の着装状況(第2報)

九州女大家政 ○高野延子 近畿女大短大 齊藤堅盤

目的 第1報と同じ

方法 第1報と同じ

結果 幼稚園 A、B 園には、年度のはじめには、同年令の男、女間にはそれぞれ有意差は認められたが、2月の測定最終日には両幼稚園間の同年令男女間には、有意差は認められなかった。第1報、第2報の調査結果によれば、このように幼児の生活する集団が同じような環境であれば、その被服量、許体重比には著しい差が認められず、生活する集団の環境状況が異なれば、その被服量、許体重比には有意の差が認められたことは、幼児の身体的状態によるものか、あるいは幼児ととりまく環境に起因するものかは、今後の課題としてゆきたい。